

10月度常議員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成22年10月18日（月） 14：00～16：00

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 森本支部長

常 議 員 笹 村、藤 井、藤 谷、村 上

黒 田、甲 谷、小 林、白 沢、鈴 木

支部監事 岩 下

事 務 局 児 玉

【審議事項】

（1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（2）支部報告 1. 事業報告

2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

（3）10月度理事会および支部長会議の報告

- 支部長より、10月12日(火)に開催された理事会および支部長会議の報告が行われた。理事会の主な報告としては、「大賞選考委員会委員の選任について」、「法政大学55・58年館の保存活用に関する要望書」の提出について、「住まいづくり支援建築会議運営規程の改正について」、「会員外の委員についての申し合わせについて」、「29学会（43万人会員）会長緊急声明：科学・技術による力強い日本を実現するための大学・研究機関の強化と予算措置を求める」への賛同について、「建築会館の環境配慮等に関する検討WG 中間報告」、「新法人制度対応委員会 中間報告（代議員定数、定款、一般規則の変更案）」などであった。

支部長会議の主な報告としては、「2011年度特色ある支部活動の選考結果について」、「支部経営助成費配分に関する特例措置について」などであった。

（4）代議員定数の見直しについて

- 新法人制度への移行に伴い、各支部からの代議員定数の見直しについて支部長から理事会資料を用いて説明があった。

理事会で提案された見直し案と支部長会議で提案された見直し案について検討した結果、常議員会では、支部長会議での提案を支持することとして本部へ回答することにした。

【回答内容】外国在住会員を関東支部に加えた計算例で示された、関東支部の代議員数を50名とすることを支持する。

(5) 2011年日本建築学会大賞業績候補推薦の件

- 候補者の推薦については次回の常議員会までに申し出ることとした。

(6) 2011年日本建築学会文化賞候補業績推薦の件

- 候補者の推薦については次回の常議員会までに申し出ることとした。

(7) 第66期当支部常議員候補の件

- 事務局より、常議員および代議員の選挙に関する概要および日程の説明があった。
- 退任常議員を中心に次回の常議員会までに候補者を持ち寄るよう各役員に対し依頼があった。

(8) 第12期当支部代議員候補の件

- 支部長より、退任常議員は原則として候補者となる旨の説明があった。
- 他の候補者は、次回の常議員会までに持ち寄るよう各役員に対し依頼があった。

(9) 2011年度共通事業設計競技支部審査員決定の件

課題：「時を編む建築」

- 前回からの留任審査員である、浅野博光君（奥村組）、児玉 謙君（日建設計）、木下 光君（関西大学）、長坂 大君（京都工芸繊維大学大学院）に加え、新谷昭夫君（大阪市立住まいのミュージアム、当支部監事）を新任審査員に加えることとした。

(10) 「作品選集2012、2013」近畿支部選考部会委員選任の件

部会長(本部委員会委員を兼務)：森本支部長、他の委員：6～7名程度

- 来年度からの選考部会委員構成に関しては、支部長と事務局に一任することとした。
【経過報告】検討の結果、大阪大学、立命館大学、日建設計、東畑建築事務所、竹中工務店、鴻池組、北条建築構造研究所に対し委員の依頼をすることとした。

(11) 2011年度支部研究補助費の件

- 事務局より、支部常置研究部会（25部会）の主査宛てに申請の依頼を行ったところ、今回は材料施工部会、建築経済部会から申請があったことが報告された。
- 近畿支部は毎年2部会に対し補助費を交付していることから、申請のあった2部会に補助費を交付することとした。

(12) 当支部研究委員会からの報告と提案について

- 岸本研究委員会委員長より、10月5日に開催された研究委員会の報告を議事録および関係の書類を用いて報告された。
 - ①来年度の当支部研究発表会の実施に関して
 - ②当支部のホームページについて

- 発表原稿の電子投稿については、原稿の不備を確認してから送信してもらうことを目的に、ネット上へ確認項目を記載した「事務局からのお願い」の内容を項目ごとにグループピングするよう指示があった。
- 当支部ホームページについては、当支部情報・電子化委員会の藤谷委員長からも現在の活動状況について報告があった。

(13) 平成23年度研究発表会スケジュール(案)の件

- 1) 原稿募集会告： 建築雑誌12・1・2月号
- 2) 原稿締切日： 3月8日(火)
- 3) プログラム編成日： 3月23日(水)
- 4) 訂正指示原稿の訂正期限：4月1日(金)
- 5) プログラム発表： 建築雑誌5月号、当支部ホームページ
- 6) 報告集頒布開始日： 5月26日(木)
- 7) 開催日： 6月18日(土)・19日(日)

- スケジュールについては、上記のとおり実施することが承認することとした。

(14) 平成23年 在阪建築14団体新年交礼会への出席者について ※赤字部分は、変更箇所です。

開催日時：平成23年1月4日(火) ~~14時30分～15時30分~~ 15時～16時

開催場所：シェラトン都ホテル(大阪市天王寺区上本町) ~~もしくは~~

~~サ＝ガロイヤルホテル(大阪市北区中之島)~~

出席予定者：森本支部長、村上事業常務幹事、小林事業副常務幹事 計3名

- 来年の新年会には、支部長の他に常議員から常務・副常務の事業幹事に出席していただくよう支部長および事務局から依頼があり承諾された。

(15) 委託調査研究依頼の件

- 下記の継続による調査研究依頼については受託することが承認された。

○コンクリートのポンプ圧送性評価手法に関する研究 (継続研究)

- 委託者 近畿生コンクリート圧送協同組合
- 担当者 岩清水 隆 君(当支部材料施工部会 主査)
- 期間 契約日～平成23年11月1日
- 研究費 2,000,000円

(16) 協賛依頼の件

- 下記の協賛依頼については承認された。

○2010年 建築関係団体合同忘年懇親会

- 期 日 12月14日(火)18時～19時30分
- 会 場 太閤園迎賓館 ダイヤモンドホール
- 主 催 (社)大阪府建築士会(当番会)、(社)日本建築家協会近畿支部、(社)大阪建築士事務所協会、(社)日本建築協会

(17) 後援依頼の件

- 下記の後援依頼については承認された。

○地域フォーラム 「持続可能な滋賀」実現に向けてのまちづくり人財育成

- 期 日 12月18日(土) 16時～18時
- 会 場 滋賀県立大学 A2-201教室
- 主 催 滋賀県立大学、NPO法人コミュニティ・アーキテクト(近江環人)ネットワーク
日本建築学会サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト特別研究
委員会 近畿・滋賀WG

(18) その他

①コピー機のリース満了に伴う入れ替えについて (No. 13)

- 事務局よりリース契約の満了に伴い、入れ替えの提案があり承認された。
入れ替えに際しては、年間3万円程度の経費が削減されることが報告された。

②大阪科学技術センター創立50周年式典開催に伴う当支部の表彰について

- 期 日 11月5日(金) 15時～18時
- 会 場 大阪科学技術センター8階 大ホール
- 当支部の代表として、笹村常議員が出席することとした。

【報告事項】

(1) シンポジウム「コンクリートと木のコラボレーションによる

持続可能な住まいと地域住環境の設計」終了報告の件

- 10月14日(水)のシンポジウムに出席した笹村常議員(当該の実行委員会委員)より、シンポジウム全体の内容に関して報告があった。

以 上